



# きつつきの商売 (1)

名前

きつつきが、お店を開きました。  
それはもう、きつつきにびったりのお  
店です。

きつつきは、森じゅうの  
木の中から、えりすぐりの  
木を見つけてきて、かんば  
んをこしらえました。

かんばんにきざんだお店  
の名前は、こうです。

おとや

それだけでは、なんだか分かりにくい  
ので、きつつきは、その後、こう書き  
ました。

「できたての音、すてきない音、お聞  
かせします。四分音ぶーこにつき、ど  
れでも百リル。」

「へええ。どれでも百リル。どんな音が  
あるのかしら。」

そう言って、真っ先にやって来たのは、  
茶色い耳をびんと立てた野うさぎでした。  
野うさぎは、きつつきのさし出したメニ  
ューをじっくりながめて、メニューのい  
ちばんはじっこをゆびさしながら、

「これにするわ。」

と言いました。

ぶなの音です。

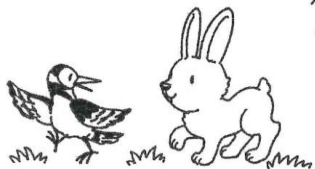
「四分音ぶ分、ちょうだい。」

「しようちしました。では、

どうぞこちらへ。」

きつつきは、野うさぎをつれて、

ぶなの森にやって来ました。



上の文章を読んで、答えましょう。

(1) きつつきが開いたお店について、書きまし  
よう。

① きつつきが開いたお店の名前は、何ですか。

② きつつきはどんな木で、かんばんをこ  
しらえましたか。

③ 文中のそれは何をさしていますか。

(2) ① おとやは何をする店ですか。

② 文中のそうは何をさしていますか。ぬき  
書きしましょう。

(3) ① 真っ先にやって来たのは、だれですか。  
文の中からえらんで、□にあてはまるよう  
に十五字で書きましょう。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

② そのおきやくは、何をどれだけちゅう  
もんしましたか。

③ その音のねだんは、いくらですか。